

社会から、より選ばれる関西学院に

「2010年度事業報告書」の公表にあたりまして、最初に2011年3月11日に発生しました東日本大震災で犠牲になられました方々を悼み、被害にあわれました多くの皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに1日も早い復興を願っております。関西学院では院長のもとに関西学院大学東日本大震災救援委員会を組織し、救援と復興支援に向けて学生・生徒等と教職員および同窓生も含めた全学的な取り組みをすすめています。

さて、関西学院は1889年に中国生まれのアメリカ人宣教師W・R・ランバスによって設立され、2010年に創立121周年を迎えました。多くの方々に支えられてまいりましたことに深く感謝申し上げます。

関西学院が2008年度に策定した「新基本構想」ではミッションとスクールモットーの現代的な意味を改めて確認し、「“Mastery for Service”を体現する世界市民」を育成することを使命(ミッション)としています。同時に、10年間の到達目標である6つのビジョンと、その実現に向けた戦略を定めて、現在その具体的な施策である「新中期計画」に取り組んでおり、2010年度末時点で計62の施策の内51が実施計画となり推進しているところです。

関西学院の2010年度の大きな動きとしましては、関西学院大学に11番目の学部である国際学部を開設いたしました。また、学校法人千里国際学園との合併により、国際中学校・高等学校とインターナショナルスクールを承継しました。今日、関西学院は7つのキャンパスに計10の学校を設置し、2011年5月時点で2万7千名近くの学生・生徒等が学ぶ総合学園として発展しています。

これらを含めまして2010年度の主な状況につきましては「I.学校法人の概要」をご覧ください。

この事業報告書は、財務情報の公開を目的として2004年度から私立学校法により作成および閲覧に供することが義務付けられましたが、関西学院では財務状況について1968年度の決算から印刷物等を通じて全構成員に公表してまいりました。また、1999年度の決算からはホームページ上でも広く社会に公表し情報開示に努めています。

関西学院の2010年度の主な事業と決算につきましては「II.事業の概要および財務の概要」をご覧ください。

関西学院は3年後の2014年に創立125周年を迎えます。それに向けて、関西学院創立125周年記念事業を開始いたしました。

これからも関西学院が社会における存在意義を高め、より選ばれる学校となりますよう努力をしております。また、関西学院のさまざまな教育・研究活動がさらに充実し活発となることを通じましても、東日本大震災の支援と復興に寄与していきたいと考えています。

皆様におかれましても関西学院の活動にご理解をいただきますとともにご支援いただきますよう心からお願い申し上げます。

学校法人関西学院 理事長 森下洋一

目次

I. 学校法人の概要	8. 学生・生徒等、教職員、役員等の状況…………… 13
1. ミッションとスクールモットー…………… 02	9. 組織…………… 18
2. 関西学院について…………… 02	10. 学生・生徒等の納付金…………… 19
目的・設置する学校・沿革	II. 事業の概要および財務の概要
3. 新基本構想：関西学院がめざすところ…………… 05	1. 決算説明と事業の内容…………… 20
4. 新基本構想：新中期計画の主な取り組み…………… 06	独立監査人の監査報告書・監事監査報告書…………… 29
5. 主な活動状況…………… 07	資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表… 31
6. 関西学院大学の主な取り組み…………… 08	2. 財産目録…………… 42
7. 主な運営活動指標の推移…………… 12	3. 財務データ(経年比較)…………… 44